

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	○			基本（必須）	○		『職場におけるハラスメントの防止に関する規程』を制定し、あらゆるハラスメントを禁止している。						●				●						●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している	○			基本（必須）	○		『職場におけるハラスメントの防止に関する規程』を制定し、あらゆるハラスメントを禁止している。						●				●						●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している	○			基本（必須）	○		『育児・介護休業等に関する規則』を定め、短時間勤務や就業時刻の繰り上げ繰り下げなどを認めている。						●				●							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		東京営業所において外国人1名を正社員として採用している。					●					●		●					
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		『労働安全衛生法に基づく資格・教育マニュアル』を制定し運用している。				●						●							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		年一回、ストレスチェックテストを実施。こころの健康づくりに関する計画を制定し実施中。				●													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		正社員の定年を62歳とし、その後は契約社員となるが、原則として自動更新としている。						●				●		●					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	○			基本（必須）	○		年間教育計画に基づき、eラーニングや階層別研修、技能研修、資格取得支援を実施し、従業員の能力向上と継続的な人材育成に取り組んでいる。					●				●	●							
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	○			基本（必須）	○		『就業規則』および『給与規程』により、正社員・契約社員・パート社員の処遇ルールが明文化されている。					●				●		●						
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		『育児・介護休業等に関する規則』を定め、短時間勤務や就業時刻の繰り上げ繰り下げなどを認めている。	●			●			●			●		●					●
11		【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている	○			基本（必須）	○		『育児・介護休業等に関する規則』を定め、短時間勤務や就業時刻の繰り上げ繰り下げなどを認めている。				●			●			●		●					
12	環境	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	○			チャレンジ（任意）	○		定期健康診断を実施し、再検査・精密検査の受診勧奨を行っている。また、安全衛生委員会等で健康課題を扱っている。				●					●								
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失職者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる	○			チャレンジ（任意）	○		『奨学金返還支援制度』を導入し、入社5年以内の社員を支援している。	●	●	●		●				●		●	●				●	
14		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		発行文書『現場から排出される廃棄物の取り扱いについて』にて社内通知している												●	●		●		
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本（必須）	○		毎月『SDG's 固定費削減目標管理表』を更新し、使用量を把握している							●							●			
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		毎月『SDG's 固定費削減目標管理表』を更新し、使用量を把握している							●						●	●			
17	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		発行文書『現場から排出される廃棄物の取り扱いについて』にて社内通知している				●			●						●	●				

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけてく ださい	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本 （必須）	○		工事活動において環境関連法令を遵守し、周辺環境及び生態系への影響低減に配慮している。							●							●	●		
19		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本 （必須）	○		ユニフォームのリニューアルに伴い、不要となった旧ユニフォームについては、リユース、リサイクルとする。（10月）									●		●						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本 （必須）	○		毎月『SDGs 固定費削減目標管理表』を更新し、使用量を把握している								●						●			
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ （任意）	○		事業活動における水資源の有効利用に配慮し、事務所や現場において節水を心掛けている。また、水の無駄遣い防止や適切な使用に努めることで、環境負荷の低減に取り組んでいる。								●									
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ （任意）	○		環境マネジメントシステム認証の取得はしていないが、LED照明等の環境配慮型設備の施工、工事廃棄物の適正処理、資材の有効活用を通じて環境負荷の低減に努めている。あわせて、社員の環境意識向上を図り、環境に配慮した事業活動を推進している。				●				●		●		●	●	●			
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ （任意）	○		省エネルギー設備等の施工、工事廃棄物の適正処理など、環境に配慮した事業活動に取り組んでいる。また、環境への取り組みについては、会社案内、提案活動、取引先との打合せ等の機会を通じて適切な情報共有に努めている。													●				
24		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）	○		事業活動における環境への影響を考慮し、信頼できるメーカーおよび仕入先からの資材調達に努めている。また、工事においては資材の適正使用や廃棄物の削減、分別処理を行い、天然資源の有効活用と環境負荷の低減に配慮している。								●		●		●	●	●			
25	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本 （必須）	○		法令遵守を重視し、就業規則等において不正行為及び利益供与を禁止するとともに、従業員への周知を行っている。																●	
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本 （必須）	○		法令遵守を重視し、就業規則等において独占禁止法の違反行為を禁止するとともに、従業員への周知を行っている。																●	
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる		○		基本 （必須）	○		『情報システム管理規程』および『個人情報取扱規程』を定め、ソフトウェアライセンスの適正利用、機密情報の管理に取り組んでいる。									●	●							
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本 （必須）	○		『個人情報保護方針』を制定し、従業員・取引先等の個人情報について適切な取得、利用、保管及び管理を行っています。																●	
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○	○	チャレンジ （任意）	○		紛争鉱物問題を認識し、信頼できる取引先からの調達を通じて、社会的責任に配慮した事業活動に努めている。																●	
30		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	○	○		チャレンジ （任意）	○		協力会社との連携を大切にし、安全大会や日常の打合せを通じて、安全意識の向上や法令遵守の重要性について共有している。また、工事廃棄物の適正処理など環境への配慮に努め、協力会社とともに持続可能な事業活動を推進している。						●			●	●		●	●	●	●	●	●
31		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/		○		チャレンジ （任意）	○		『パートナーシップ構築宣言』を作成・公表している				●						●	●	●					●

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

[illegible]

上記以外で設定した取組項目

[illegible]

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。